



## 目次

開発のための連携(プロジェクト開会式の実施) .....	1
エクアドル JICA 支所長からのメッセージ .....	2
プロジェクトの概要 .....	2
チンボラソ県知事からのメッセージ .....	3
インタビュー: 「移民・出稼ぎを止めたい」 .....	3
インタビュー: 貧困削減のための協力 .....	4
グアテマラでの視察 .....	4



チンボラソ県知事マリアノ・クリカマ氏(左)とエクアドル JICA 事務所長山口三郎氏

## 開発のための連携(プロジェクト開会式の実施)

JICA、チンボラソ県議会、農牧省、教育省、保健省、環境省の協力の結果、プロジェクト「Minka Sumak Kawsay」が誕生し、今年の3月11日に正式に活動が開始されました。プロジェクトでは、リオバンバ市、コルタ市、グアモテ市にある、6つの村落にて、今後二年間、パイロットプロジェクトが展開される予定です。

このプロジェクトでは、教育、健康、環境、農業生産の分野で活動することとなります。第一フェーズの二年間では、パイロットプロジェクトを展開するため、各集落の必要性に基づいたベースラインを知るための調査を実施し、二年目からパイロットプロジェクトが実施する予定となっています。

また、技術協力を効果的に実施するために、プロジェクト運営委員会が設立されました。この委員会は、保健省、教育省、環境省、農牧省各々の県事務所長から構成されています。会議は原則として月に一度開かれ、活動の進捗状況、問題が起こったときの迅速な解決を図ります。

パイロットプロジェクトが成功すれば、約五年間の第二フェーズが実施されることとなります。よって、プロジェクト Minka Sumak Kawsay を構成する全ての人々が、大きな意識を持って協力して活動することが必要となります。

## エクアドル JICA 支所長からのメッセージ



山口 三郎  
エクアドル JICA 事務所長

まず最初に私共が、ようやくこのプロジェクトが始動したことを非常に嬉しく思っていることを申し上げます。プロジェクトを実現させるには、チンボラソ県議会、農牧省、環境省、教育省、保健省の県事務所、AGECI、そしてそれらの中央事務所等、エクアドル国側の諸機関と共に歩んだ、長い道のりがありました。

期待される成功を手にするには、信頼関係と強い意志が必要です。このプロジェクトに携わる全ての人々がその発展のために協力しながら、農村の人々自身がプロジェクトを自分たちのものと考え、主役を演じていくことが、非常に重要です。

私共は、定められたプロジェクト目標を、十分に達成できるよう支援することを、固く約束します。このことはもちろん、この協力の次のステップとなる、プロジェクトの第二フェーズを実施するための、基本的な必要要件です。エクアドルにとって重要なこのチンボラソ県が、持続的な発展を遂げるために、積極的な貢献をすることを強く約束します。

プロジェクトに参加する組織の運営者と技術者の、たゆみない意志と技術支援に感謝します。

## プロジェクトの概要

### －プロジェクト実施経緯－

公的な統計資料を用いて社会経済・一般情報を分析した結果、開発の支援対象としては、チンボラソ県でのプロジェクト展開がもっとも必要であるという結論に達しました。

### －目的－

このプロジェクトの目的は、貧困削減のための総合的な農村開発実施体制の能力を強化することにあります。

### －活動対象－

チンボラソ県の貧困問題は、保健衛生サービスの不足、低レベルの教育、農産物の低生産性、環境破壊、低収入、その他様々な原因によって引き起こされています。このため、プロジェクトでは分野横断的な協力を実施し、この県の貧困の原因となっている諸問題のひとつひとつに立ち向かいます。



プロジェクトの運営委員会会議

チンボラソ県知事からのメッセージ



マリアノ・クリカマ  
チンボラソ県長

2009年是我々の県にとって、農村開発の中で歴史的な標石を記す年となるでしょう。チンボラソ県審議会は、その社会的責任を果たすための提案の一つとして、JICAの協力を得て、プロジェクト Minka Sumak Kawsay を実施することになりました。コルタ市、グアモテ市、リオバンパ市にある6つの農村集落で、試行事業が実施されます。

チンボラソ県議会は市民との社会的な公約を果たすべく、県の社会的役割を担う人々を終結し、私たちの社会発展の一段階として、このプロジェクトへの参加を求め、「チンボラソのためのMINGA(共同作業)」を強化します。

チンボラソ県と日本が、人間の能力の潜在性と可能性を示すことで尊厳のある生活と地域の団結を実現し、私たちの歴史に新たな章を書き加えることとなるでしょう。



「先住民に対する日本政府の支援を私たちははとても喜んでいますが、私たちは良い方向に歩み出しました。」と、サンマルティンアルト村の村長は語りました。

サンマルティンアルト訪問

インタビュー：「移民・出稼ぎを止めたい」



ホセ・オタラグ  
サンマルティン・アルト村 村長

コルタ市にある、サンマルティンアルト村は、プロジェクト Minka Sumak Kawsay の6つのモデル集落のうちのひとつです。合計51家族と260人が積極的に村の開発に参加しています。

村長のホセ・オタラグ氏は、「コミュニティは小さいけれど、全ての仕事に対する情熱は大きい」といいます。また、オタラグ氏はプロジェクトを通して「観光業や組織の強化、そして開発をやりたい」と、豊富を語りました。このコミュニティが期待することの一つは、特に若者(その多くはグアヤキルに出稼ぎに行っている)に対する雇用の機会を与えることです。

## インタビュー：貧困削減のための協力



ウィルソン・セラ  
保健省チンボラソ県事務所長

保健省のチンボラソ県事務所はプロジェクト Minka Sumak Kawsay のカウンターパート機関の一つです。

保健省のチンボラソ県事務所長、ウィルソン・セラ博士は、農村での健康面や栄養面の改善を強く主張し、「チンボラソの中でも特に貧しい地域であるコルタ市、グアモテ市において改善することを目指し、それを通して貧困の問題に立ち向かいたい。」と述べています。

「私たちは、組織それぞれが協力し、参加し、責任感を持つことこそが、貧困の削減のためにより良い効果を持つのだということを確認しています。」と、セラ氏は力をこめて言います。

「大きな問題に立ち向かう「正しい道」を進んでいると確信し、各組織が持っている技術力を合わせてプロジェクトを展開すべきであり、それにより素晴らしい効果と、持続性を示すことができるようになるでしょう。」

最後にセラ氏は、「このプロジェクトを周りの県にも広げられるよう、経験から学んでいきたい。」と語りました。

## グアテマラでの視察

カウンターパート機関の連携を促進するプロジェクト Minka Sumak Kawsay の活動の一環として、保健省のチンボラソ県事務所のポリス・ベラスケス博士とアデラ・ビモス博士、そしてチンボラソ県議会のアナ・モントゥファルと氏マリア・パガロ博士が、JICA エクアドル事務所の職員とともに、グアテマラで JICA が実施している「子供の健康プロジェクト」を訪問し、視察しました。



グアテマラを訪れたエクアドル視察団

この広報誌(和訳版)は、2ヶ月ごとに、スペイン語とキチュア語で作成され、関係機関やモデル村落などに配布されている、プロジェクト広報誌「Minka Sumak Kawsay」を、和訳したものです。

### Proyecto Minka Sumak Kawsay

住所: Primera Constituyente y Carabobo esquina • 電話: 593 3 2961 516 • e-mail: proyectojica@chimborazo.gov.ec

日本語ホームページ: <http://www.jica.go.jp/project/ecuador/0800613/index.html>

スペイン語ホームページ: <http://www.jica.go.jp/project/ecuador/0800613/spanish/index.html>

キチュア語ホームページ: <http://www.jica.go.jp/project/ecuador/0800613/quechua/index.html>